

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 3 部門第 2 区分  
 【発行日】平成 19 年 8 月 2 日 (2007.8.2)

【公開番号】特開 2005-213261 (P2005-213261A)  
 【公開日】平成 17 年 8 月 11 日 (2005.8.11)  
 【年通号数】公開・登録公報 2005-031  
 【出願番号】特願 2005-37992 (P2005-37992)  
 【国際特許分類】

**A 6 1 K 9/107 (2006.01)**  
**A 6 1 K 31/192 (2006.01)**  
**A 6 1 K 31/196 (2006.01)**  
**A 6 1 K 31/405 (2006.01)**  
**A 6 1 K 31/5415 (2006.01)**  
**A 6 1 K 47/10 (2006.01)**  
**A 6 1 K 47/16 (2006.01)**  
**A 6 1 K 47/24 (2006.01)**  
**A 6 1 K 47/26 (2006.01)**  
**A 6 1 K 47/34 (2006.01)**  
**A 6 1 K 47/44 (2006.01)**  
**A 6 1 P 29/00 (2006.01)**

【F I】

A 6 1 K 9/107  
 A 6 1 K 31/192  
 A 6 1 K 31/196  
 A 6 1 K 31/405  
 A 6 1 K 31/5415  
 A 6 1 K 47/10  
 A 6 1 K 47/16  
 A 6 1 K 47/24  
 A 6 1 K 47/26  
 A 6 1 K 47/34  
 A 6 1 K 47/44  
 A 6 1 P 29/00

【手続補正書】  
 【提出日】平成 19 年 6 月 20 日 (2007.6.20)  
 【手続補正 1】  
 【補正対象書類名】特許請求の範囲  
 【補正対象項目名】全文  
 【補正方法】変更  
 【補正の内容】  
 【特許請求の範囲】  
 【請求項 1】

液体媒体中で懸濁した二層膜小胞を含む薬剤調製物であって、前記小胞は、二層形成脂質、両親媒性の鎮痛薬剤、及び前記懸濁媒体中で自己凝集可能な界面活性剤を含み、前記両親媒性物質すべての総乾燥質量が 0.01 重量%～50 重量%であり、前記鎮痛薬剤の含有率が前記総乾燥質量に基づいて 0.1%～60%である、薬剤調製物。

【請求項 2】

前記二層形成脂質がリン脂質である、請求項 1 に記載の薬剤調製物。

## 【請求項 3】

前記二層形成脂質がホスファチジルコリンである、請求項 1 に記載の薬剤調製物。

## 【請求項 4】

前記鎮痛薬剤が、ケトプロフェン、イブプロフェン、ジクロフェナク、インドメタシン、ナプロキセン、及びピロキシカムからなる群より選択される NSAID である、請求項 1 から 3 のいずれかに記載の薬剤調製物。

## 【請求項 5】

前記界面活性剤がノニオン界面活性剤から選択される、請求項 1 から 4 のいずれかに記載の薬剤調製物。

## 【請求項 6】

前記界面活性剤が、ポリエチレングリコール - ソルビタン長脂肪鎖エステル、ポリエチレングリコール - 長脂肪鎖エステルまたは - エーテル、ポリヒドロキシエチレン - 長脂肪鎖エステルまたは - エーテル、あるいは表面活性剤状非イオン性リン脂質である、請求項 5 に記載の薬剤調製物。

## 【請求項 7】

前記総乾燥質量が 0.1 重量% ~ 40 重量% である、請求項 1 から 6 のいずれかに記載の薬剤調製物。

## 【請求項 8】

前記総乾燥質量が 0.5 重量% ~ 30 重量% である、請求項 7 に記載の薬剤調製物。

## 【請求項 9】

前記総乾燥質量が 1 重量% ~ 15 重量% である、請求項 7 に記載の薬剤調製物。

## 【請求項 10】

前記鎮痛薬剤の含有率が前記総乾燥質量に基づいて 0.5% ~ 50% である、請求項 1 から 9 のいずれかに記載の薬剤調製物。

## 【請求項 11】

前記鎮痛薬剤の含有率が前記総乾燥質量に基づいて 1% ~ 40% である、請求項 10 に記載の薬剤調製物。